

こんぶ研究

こんぶ研究会機関誌

第1号 2007. 10. 1 発行
第1巻第1号 通巻1号

〒001-0021

北海道大学創成科学共同研究機構
プロジェクト棟1階
こんぶ研究会事務局

こんぶ研究会発足

北海道産こんぶの置かれている現状を理解し、その状況の改善のための研究や学習を大学等と連携して行い、会員自らも、生涯学習者として自己啓発に努め、会員相互の学習を支えあうことを目的に、本年7月20日、こんぶ研究会が任意団体として組織されました。

代表には、北海道大学北方生物圏フィールド科学センター・水圏ステーション・室蘭臨界実験所の四ツ倉典滋助教が就任しました。事務局・会計担当には北海道大学創成科学共同研究機構リエゾン部の舟橋正浩学術研究員が就任しました。以下、会員として北海道大学の川下浩一産学官連携コーディネーター（文部科学省派遣）、株式会社芙蓉海洋開発技術部の江端弘樹係長の計4人体制となつております。

事務局所在地は、

〒001-0021

札幌市北区北21条西11丁目

北海道大学創成科学共同研究機構

プロジェクト棟1階

リエゾンオフィス内

TEL011・706・7187

FAX011・706・7306

となっております。

お近くにお越しの際は、是非お立ち寄りください。



▲熊石サイトを視察する四ツ倉代表(右)と江端氏(左)

こんぶ研究会 会則

(名称)

第一条 この会はこんぶ研究会と称する。

(事務局)

第二条 事務局を北海道大学創成科学共同研究機構リエゾン部におく。

(目的)

第三条 この会は、北海道産こんぶの置かれている現状を理解し、その状況の改善のための研究や学習を大学等と連携し行い、会員自らも、生涯学習者として自己啓発に努め、会員相互の学習を支援あうことを目的とする。

(事業)

第四条 この会は、前条の目的を達成するために次の事業を行う。

1. こんぶの研究成果等を分かりやすく市民に伝える活動をお

こなう。

2. 地域の子どもたちのこんぶに関する食や文化の学習支援活動を

3. こんぶに関する各種事業を、学び理解する学習会を開く。

4. 会員相互のこんぶに関する理解を高めるための学習会を開く。

5. 会員のこんぶに関するボランティア活動と学習を支援するための環境を整備する。

6. 会員及びこんぶに関わる人々と親睦・交流を図る。

7. その他、前条の目的達成に必要な事業

(会員)

第五条 この会は、前二条の趣旨に賛同する者を会員とする。

(組織)

第六条 この会に、次の役員をメンバーとする運営委員会をおく。

1) 会長 一名

事務局兼会計 一名
運営委員 若干名

2) 役員は、総会において選出し、その任期を2年とし、再任を妨げない。

3) 会長は、会を代表し、会務を総理する。

4) 事務局は、会の庶務を担当し、会長を補佐する。

5) 会計は、会の会計を担当し、事務局を補佐する。

6) 運営委員は、会の運営企画を担当する。

(会議)

第七条 この会は、次の会議を開催する。

1. 総会 年一回会長がこれを招集し、出席会員の過半数をもって決定する。

(事業計画・収支予算・規約の改廃・役員互選等)

2. 運営委員会

定期的に開催することとし、会長は、開催日時、開催場所を決定し、主催する。また必要に応じて臨時に会長が召集できる。

1. この会則は、平成19年4月20日から施行する。

(事業計画・収支予算等の実行及び企画等作成し審議する)

(会計)

第八条 この会の会計は、会費、寄付金その他の収入をもって充てる。

2) 正会員の会費は、1200円/年とする。

3) 会計年度は、毎年4月1日から翌年3月31日までとする。

4) 会計決算は年度終了後、最初に開かれる総会にて承認を受ける。

(補則)

第九条 この会則に定めない事項については、運営委員会にて決定する。

附則

(施行期日)

1. この会則は、平成19年4月20日から施行する。

事業報告

(2006年度)

当会発足前の2006年度に行われた事業を報告します。

■第一回こんぶ種苗養殖予備実験事業(せたな町大成区・八雲町熊石区) 2007年1月26日実施

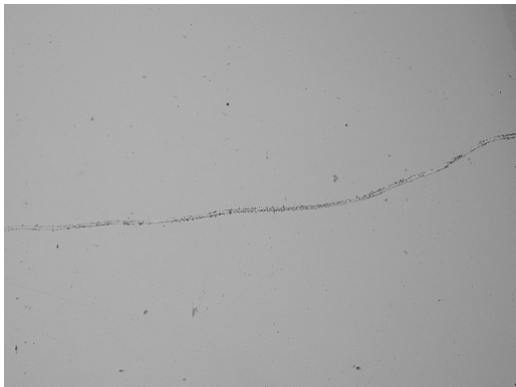
四ツ倉典滋代表と舟橋正浩事務局兼会計の2名が岩内町を經由して八雲、せたなの両町を訪れ、こんぶ種苗(ホソメコンブ)を熊石水産種苗生産センター(八雲)、大成水産種苗育成センター(せたな)両施設のあわび養殖用水槽に投入しました。投入し



▲大成試験サイトでの投入の様子。四ツ倉助教(左)と沖崎孝純所長(右)



▲投入されたコンブ葉体浮遊体(大成サイト)



▲投入されたコンブ種苗糸(大成サイト) (2007年1月26日撮影)



▲熊石試験サイトでの投入の様子。四ツ倉典滋助教(左)と南部政人主任(右)



▲熊石試験サイトの様子。

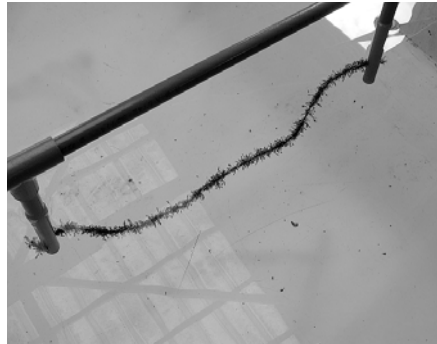
たのは種苗糸1本、葉体(胞子体)の

浮遊体500mlです。

第一回目の養殖試験については、投入時に種苗培養水槽と養殖用水槽の水温に差があつて、一部先枯れなどが発生し、また、大成サイトでは投入した葉体が小さかった(平均約0・5cm)ことと、表層水を利用してのことによる珪藻の繁茂が見られましたが、その他の成績は優秀であり、投入1ヶ月後の2月26日には、大成サイトでの全長が平均5・0cm、熊石サイトでの全長が平均3・0cmに達しました。この差は主に日照強度と時間、また水温などの差によって発生したものと考えられており、今後の研究に向けての貴重なデータとなりました。



▲熊石サイトでの葉体浮遊体の生育状況



▲種苗糸付着葉体の生育状況(同左)



▲種苗糸付着葉体の生育状況(大成サイト)

(2007年2月21日撮影)

事業報告 2007年度

■第一回陸上養殖ホソメコンブ「お刺身こんぶ」試食会(せたな町大成区・国民宿舎・あわび山荘)

2007年4月12日実施

渡島信用金庫(森町本店、伊藤新吉理事長)の主催による、第一回陸上養殖ホソメコンブ「お刺身こんぶ」試食会が、せたな町大成区の国民宿舎・あわび山荘で開催されました。

出席者は越野邦夫大成区長、道高勉せたな町副町長、尾形吉一道ぎょれん函館支店長のほか、北川和人ひやま漁協総代や大成水産種育苗センターの沖崎孝純所長、栄田武士係長など、主催の渡島信用金庫からも伊藤新吉理事長が臨席しました。

当研究会からは四ツ倉代表、舟橋事務局兼会計、川下浩一の3名が出席、ほかに、こんぶ幼体の培養作業を実際に行って頂いた北海道大学室蘭臨海実験所の加藤弘美さんが出席し、計12人が試食を行いました。

試食メニューは「お刺身こんぶ」細切りとあわびの酢の物、「お刺身こんぶ」のしゃぶしゃぶなど5品目で、

各出席者は「熱湯に通すと生コンブのときと色が変わって面白い」「歯ごたえが残った方が良い」などの感想を述べました。



▲(左)養殖用水槽からの“水揚げ”の様子 ▲(中)約2.5ヶ月で50cm超にまで成長したホソメコンブ ▲(右)試食会の様子

■第二回陸上養殖ホソメコンブ「お刺身こんぶ」試食会(八雲町熊石区・熊石青少年旅行村/あわびの里フェスティバル2007会場)

2007年5月20日実施

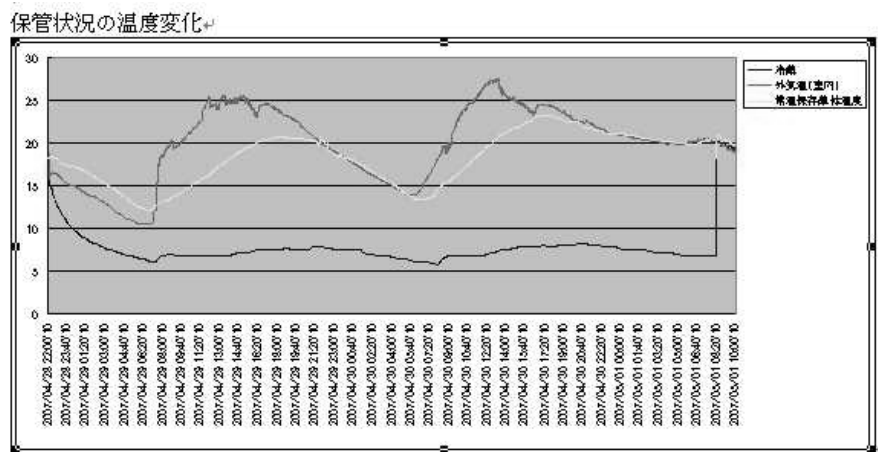
八雲町熊石区の熊石観光協会主催による「第13回熊石あわびの里フェスティバル」が5月20日(日)に実施され、会場内に特設コーナーをお借りして、来場客のみなさんに、熊石産陸上養殖ホソメコンブの試食に参加して頂きました。

当研究会からは舟橋事務局兼会計が参加し、しゃぶしゃぶ式でお刺身こんぶを提供、来場客の皆様から、「色が変わるのが面白い」「どこに行ったら買えるのか」といったご意見を頂戴しました。



▲熊石での試食会の様子

■長距離輸送実験
2007年4月26日～5月1日(せたな町↓愛知県安城市間)



大成水産種育苗センターから愛知県安城市までの長距離輸送実験が、2007年4月26日～5月1日の間で行われました。
実験には通常の宅配便を用い、普通便、クール(冷蔵)、クール(冷凍)

の3種類で輸送し、同時に貨物内の温度を測定することで到着時点く保管状態と輸送条件(貨物内温度)との相関を見ました。

■例会

今年度は、以下の打ち合わせを行っています。議題など詳細については事務局宛お問い合わせください。

●4月21日例会(於・ホテルフレスコ・森町)

議題 2007年度の研究計画(GEL Design社との共同研究)(獲得を目指す研究助成金/JST・シーズ展開/METI・ベンチャー・中小企業事業化)について。今後の予備実験予定(熊石サイトの試食会)(輸送試験実施サイトの選定、夏季の養殖成績評価)について。特許化する技術(四ツ倉代表・GEL Design社)について。

●7月20日例会(於・札幌市生涯学習センターちえりあ・札幌市西区)
議題 NPO法人化について。新規の研究開発案件(GEL Design社・海洋探査社/含種苗塗料)について。

■NPO法人設立総会開催

(2007年8月31日・北大創成プロジェクト棟)

当研究会例会で議論された通り、こんぶ研究会はNPO法人格の取得を目指します。

理由は、

①北海道におけるこんぶ水産資源の重要性が高く、その資源維持と消費拡大は市民活動的に規模拡大せざるを得ない。

②こんぶ種苗の保存活動に必要な技術は北海道大学がノウハウとして保持しており、この技術供与を受けるためには法人格の取得が必要。

③種苗保存の公益性の高さと、この活動に取り組むことの必要性の高まり。

以上から、8月31日に北大創成プロジェクト棟においてNPO法人北海道こんぶ研究会の設立総会が開催され、理事11人、監事1人の全員が出席して成立しました。

申請書類は9月26日に道庁の環境生活部生活局道民活動文化振興課に申請を開始しており、現在、道庁による書類審査を受けております。定款、議事録等は次頁に記載します。

今後の予定 2007年度

今後の研究会の活動予定です。

■第3回養殖実験(大成サイト・9月中旬〜10月中旬)

夏季養殖実験に引き続き、第3回養殖試験をせたな町大成区のご協力を得て行います。今回の養殖試験では、後述の「しんきんいものフェア2007」出展用の「お刺身こんぶ」を生産します。

■しんきんいものフェア出展(ホテルロイトン札幌・10月19日予定)
渡島信用金庫様のご厚意で、しんきんいものフェア2007への「お刺身こんぶ」出展が決定しました。同フェアは一般消費者向けイベントではなく、あくまでバイヤー向けイベントであるため、準備する「お刺身こんぶ」の量は少なくとも出展可能と判断しました。

■GEL Design 社開発試験(熊石サイト・10月下旬予定)

今年4月、北海道大学に発明届を提出した案件の『種苗糸』について、その性能評価や製造法の適否を判定します。